

かけはし

No. **88**



撮影：日谷 理恵

CONTENTS

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| ・新任医師紹介・・・・・・・・・・ (2) | ・リハビリテーション科 見学実習を終えて・・ (4) |
| ・新入職員紹介・・・・・・・・・・ (2) | ・ふれあい看護体験を行いました・・ (4) |
| ・令和7年度 永年勤続表彰者・・ (2) | ・我が家の新しい家族・・ (5) |
| ・20年表彰を受けて・・ (2) | ・オープンカンファレンスのご案内・・ (5) |
| ・骨粗鬆症治療と骨折予防・・ (3) | ・地域医療連携室だより・・ (5) |
| ・感染管理認定看護師な日々・・ (3) | ・編集後記・・ (5) |
| ・新入職員歓迎ボウリング大会・・ (4) | ・診療日程表・・ (6) |

日本医療機能評価機構認定病院
特定医療法人 財団竹政会



セントラル病院

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26
TEL.084-924-4141(代) FAX.084-924-8040
●ホームページアドレス <http://www.central-hp.or.jp/>

病院理念

私たちは、安全で良質な医療が提供できるよう
最善を尽くし、地域の人々に信頼され愛される
病院を目指します。

新任医師紹介

整形外科 後藤 峰範



2025年7月より、整形外科の診療を担当させていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

セントラル病院には、医師5年目だった2006年からお世話になっており、私的な事情で離れていた時期もありますが、通算して約20年のご縁になります。若い頃からスタッフの皆さまに支えていただき、竹政先生や他科の先生方にもたくさん助けていただきました。この場を借りて、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。本当にありがとうございます。

これまで整形外科と形成外科にそれぞれ8年間勤務し、その後の7年間は岡山市内で整形外科の開業医として地域医療に携わってきました。医院の老朽化や自身の体調のこともあり、一つの区切りとして再びセントラル病院に戻る決断をいたしました。

しばらく手術や入院診療から離れていたため、初心に立ち返り一つひとつ丁寧に取り戻していきたいと思います。どうぞ気軽にお声をかけていただき、ご指導いただければ嬉しいです。

新入職員紹介

社会福祉士

大塚 千絵

5月より地域連携室で勤務させていただくことになりました。まだまだ勉強中ですが、少しずつでもお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いします。

保育士

河妻 志穂

4月より託児所で保育士として勤務しています。子どもたちのかわいい姿に毎日癒されています。趣味の野球観戦や推し活も楽しみながら、子どもたちに負けなくらい元気に頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

保育士

寺岡 千恵

6月から勤務をさせていただいております。子どもたちが毎日楽しく安心して過ごせるように努めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

令和7年度 セントラル病院 永年勤続表彰者

20年表彰

藤井 弘子 看護師 奥瀧 真由 保育士

10年表彰

藤本 智恵 看護師 加藤 千景 看護師
三宅 美緒 看護助手 大居 末子 看護助手
宮本 真由 薬剤師 金尾 亮兵 理学療法士

5年表彰

瀬良 美穂 事務 岡 くるみ 事務



20年表彰を受けて

わくわく託児所 保育士 奥瀧 真由

この度は、永年勤続20年の表彰をいただき、誠にありがとうございます。新卒で入職して以来、多くの先輩方に時に厳しく、時に温かくご指導いただき、同僚や後輩に支えられ、助けてもらいました。そして、何よりも子どもたちの笑顔に元気をもらい、20年の節目を迎えることができ、心より感謝申し上げます。

この20年間には、託児所の新築・移転や、コロナ禍での保育など、さまざまな出来事がありましたが、振り返るとあっという間だったように感じます。日々変化していく子どもたちの姿に柔軟に対応できるよう、自分の知識や技術をアップデートしながら、今後も初心を忘れずに精進してまいります。





病気のはなし

骨粗鬆症治療と骨折予防 ～地域でつなく連携の輪～

外科 竹原 寛樹

骨粗鬆症は、高齢者に多く見られる骨の病気で、骨がもろくなり骨折しやすくなる状態です。特に女性は閉経後に急激に骨量が減るため、注意が必要です。自覚症状がほとんどないまま進行し、ちょっとした転倒や立ち上がり動作で背骨や大腿骨(太ももの付け根)を骨折してしまうことがあります。

当院ではこれまで、さまざまな診療科を中心に骨粗鬆症の診療を行ってきましたが、骨折を未然に防ぎ、地域の高齢者が元気に暮らし続けられるようにするためには、整形外科との連携が欠かせません。そこで、今年度から新たに着任した整形外科医と協力し、骨折の「予防」と「治療」の両面から治療体制の強化に取り組んでいます。

骨折を契機に初めて骨粗鬆症が発見されるケースは非常に多く、たとえ手術で骨を治しても、骨粗鬆症の治療を行わなければ再骨折のリスクは高まります。そのため、当院では整形外科で骨折患者さまを受け入れた段階から、他科と連携し、骨密度測定や骨代謝マーカーの評価を早期に実施しています。必要に応じて、ビスホスホネート製剤やデノスマブなどの薬物療法を導入し、再骨折の予防に努めています。

また、地域の開業医の先生方と情報を共有し、入院後の治療を外来で継続できる体制を整えています。特に、注射薬による治療は継続が重要ですので、通院負担の少ない3ヶ月や6ヶ月製剤もご用意しております。患者さまの生活スタイルに合わせた治療選択が可能です。

骨粗鬆症は「転ばぬ先の杖」として、骨折を防ぐための第一歩です。患者さま一人ひとりの骨の健康を守るために、病院、整形外科、開業医が連携し、地域全体で支える医療体制を目指してまいります。ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。



感染管理認定看護師な日々

感染管理認定看護師 恵谷 和郎

風邪をひいて、1日寝込みました。いわゆる夏風邪です。どこからありがたく頂戴したのか全く心当たりがありません。ふと考えたのですが、夏の風邪は多いのでしょうか？それとも少ないのでしょうか？

急性呼吸器感染症は第5類感染症に位置付けられ、2025年4月7日から定点サーベイランスの対象となりました。これによって分かったことは、夏もしっかりと呼吸器感染症が多いということです。どうやらCOVID19やインフルエンザに負けない流行があるようです。サーベイランスが始まったばかりで確かなことは言えませんが、少なくとも呼吸器感染症は冬が多いというわけではなさそうです。

風邪の原因には多くのウイルスが関与します。それぞれを症状から区別することは非常に困難です。なかにはマイコプラズマや百日咳に罹患していることもあり、適切な治療のためには正しい診断が必要です。当院では呼吸器感染症の原因となる病原体の遺伝子を調べる機器を導入しました。一度に15種類の細菌・ウイルスを調べることができます。これにより診断能力の向上が期待されます。

風邪といっても、その原因は多くあります。私が寝込んだときは、外来でパラインフルエンザが多い時期でした。もしかしたら、私もパラインフルエンザだったのかもしれない。

参考：急性呼吸器感染症サーベイランス週報:2025年第27週 (2025年 6月30日～2025年7月6日)
：国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症サーベイランス研究部
：https://idinfo.jihs.go.jp/surveillance/idss/content/teiten_ARI/ARI_2025w27.pdf.



BioFire® SpotFire®



飛翔会だより

新入職員歓迎ボウリング大会

飛翔会 栄養管理科 上本 知佳

5月に新入職員歓迎ボウリング大会を開催しました。豪華賞品をかけて、4人1組のチーム対抗戦を行いました。同じ部署の職員はほとんどいない、多職種のチーム分けとなっており、普段交流の少ないスタッフ同士と一緒にゲームを楽しみました。

最初は緊張する様子も見られましたが、ストライクやスベアが出ると、チーム全員でハイタッチを交わす場面も多く、ゲームが進むにつれて歓声も大きくなっていきました。チーム賞だけでなく、新人賞などの個人賞もさまざま用意され、活躍したスタッフの中には賞品を2個獲得した方もいらっしゃいました。参加賞も含め、全員が賞品を手にし、笑顔で大会を終えることができました。

普段は仕事の話しかしないスタッフとも、スポーツを通じて仕事以外の交流を深めることができましたと思います。短い時間ではありましたが、楽しいひとときを過ごし、良い交流の機会となりました。



リハビリテーション科 見学実習を終えて

川崎リハビリテーション学院 理学療法学科 高田 怜慈

2か月間、セントラル病院で実習させていただき、誠にありがとうございました。病院での実習を通じて、理学療法士の業務内容や患者さまとの関わり方を実際に体験することができ、非常に貴重な学びの機会となりました。患者さまの評価や治療を行う際には、先生方に丁寧にご指導いただき、多くの学びのヒントを得ることができました。教科書や講義だけでは得られない現場の雰囲気や、患者さま一人ひとりに合わせた対応の重要性を実感しました。また、治療のアイデアを考案し、実習指導の先生とフィードバックを行うことで、より患者さまに適した治療プログラムを作成することができました。

今回の実習を通じて、自分自身の知識や技術の不足を痛感いたしました。得た経験を大切に、今後の勉強や実習に積極的に取り組むことで、理学療法士としての成長を目指してまいります。

最後になりましたが、実習にご指導いただいた先生方、リハビリテーション科の皆様、病院職員の皆様、そして患者さまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

ふれあい看護体験を行いました

看護師 高橋 美千絵



職業体験型イベント「ふれあい看護体験」は、広島県看護協会が主催し、今年度は県内の84施設で実施されています。当院も毎年参加しており、今年度は2日間で計10名の高校生が参加しました。

参加者にはユニフォームに着替えてもらい、看護体験を開始します。まず、病院の概要や看護部の紹介を行い、その後院内の各部署を見学します。特に、手術室見学は毎年人気のプログラムです。病棟では、事前に患者様のご了承を得た上で、実際の看護ケアの様子を見学します。今回は足浴の見学を行いました。実際に看護師が患者様と関わる姿を見て、「看護師のコミュニケーション力がすごいと感じた」といったコメントもアンケートでいただきました。

ケア見学後は、学生同士で看護技術の体験を行います。血圧測定や車いす操作、防護服の着脱と手洗いのチェックなどを行いました。皆さん、最初は戸惑いながらも、楽しみながら取り組んでおり、アンケート結果も好評でした。

最初は口数が少なかった学生さんたちも、次第に慣れてきた頃に体験は終了となります。あっという間の半日でした。私の子どもの同級生も参加しており、その成長を嬉しく感じました。数年後には、同じ医療現場で働いてくれることを心から期待しています。



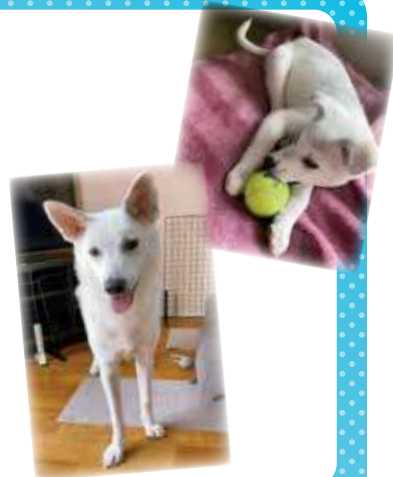
我が家の新しい家族

検査科 五島 穂香

昨年のクリスマスに、我が家に新しい家族が加わりました。生後2か月の保護犬の女の子で、ふさふさの白い毛がチャームポイントです。迎えた当初はお腹の調子が安定せず、通院やドッグフードの試行錯誤を繰り返しましたが、最近ようやく落ち着いてきました。元気いっぱいに育ち、現在の体重は約15キロです。どこまで大きくなるのかは未知数ですが、それもまた楽しみの一つです。

彼女はとにかく人が大好きで、お散歩中には誰にでも尻尾を振って駆け寄ってきます。食欲も旺盛で、拾い食いには目が離せません。家の中では、壁に穴をあけたり、床をかじったり、机や椅子の脚をかみ砕いたりとやんちゃな日々を送っています。

最近では、家族の服にも興味津々で、うっかり昼寝をしているとTシャツが見事なダメージ加工に。やんちゃぶりに手を焼きつつも、その愛らしさに、家族全員が毎日癒されています。



セントラル病院オープンカンファレンスのご案内

日時：2025年11月6日（木）19：00～

場所：セントラル病院 4階健康管理科フロアー

演題

「女性泌尿器科 × 透析医療」

～地域密着型チーム医療の新しいカタチを探る～

講師

セントラル病院 泌尿器科

有地 直子 先生

QRコードからのお申込みはこちら

締切：10月25日（土）



※お問い合わせは地域連携室までお願いします。

地域連携室 TEL：084-920-1472

地域医療連携室だより

事務 久保田 友見

季節の変わり目、体調を崩しやすい時期ですが、お元気にお過ごしでしょうか。今回は子育てと仕事の両立、そして体力づくりについてお話しさせていただきます。

私は4歳と2歳の子どもを育てながら、仕事と家事に奮闘する毎日を送っています。朝は子どもの準備と保育園の送りから始まり、仕事を終えてからはお迎え、夕食づくり、お風呂、寝かしつけと、なかなか息をつく間もありません。

そんな生活の中で実感したのが、「体力がないと1日がもたない!」ということです。そこで最近は、寝る前に軽いストレッチや腹筋ローラーを取り入れ、無理のない範囲で体力づくりを始めました。すると、私がストレッチをしていると、子どもたちも自然と一緒に体を動かすようになり、今では「ストレッチするよー!」と元気に声をかけてくれるようになりました。

子育てと仕事の両立は決して簡単ではありません。でもだからこそ、日々の中にあるちょっとした笑顔や子どもの成長が、とても大きな支えになると思います。これからも体力と気力を充実させながら、前向きに日々を楽しんでいきたいと思っています。

編集後記



暑い日が続いておりますが、皆さま、体調はいかがでしょう。この夏、ニュースなどで【炎暑】という言葉を目にしました。編集に関わる身として興味が湧き、新しい言葉かな?と思い調べてみると昔からある時候の挨拶などで使われている言葉でした。

二文字の漢字で見事に状況を表す表現力、日本語の面白さを改めて痛感しました。いやあ、日本語って本当に素晴らしいものですね。

広報委員 放射線科 増見 友孝

セントラル病院の基本姿勢

C:Center	地域医療の中枢
E:Emergency	的確な救急医療
N:Network	院内外の連携体制
T:Technique	高度な医療技術
R:Research	旺盛な研究心
A:Activity	あふれる活気
L:Love	深い愛情
H:Hospitality	快適な医療環境
P:Partnership	良好なパートナーシップ

発行 特定医療法人 財団竹政会
発行責任者 セントラル病院
院長 高橋 健治

〈セントラル病院診療日程表〉

		月	火	水	木	金	土
整形外科	午 前	竹政	後藤	竹政	後藤	後藤	後藤
	午 後	竹政 (16時～) 新患・スポーツ外来 のみ	後藤 (13時30分～15時)	竹政 (16時～) 新患・スポーツ外来 のみ	後藤 (13時30分～15時)	後藤	—
			手術 (15時～) 菊岡		手術 (15時～) 古市		
外科	午 前	高橋	竹原	湯浅	高橋	竹原	担当医
	午 後	竹原 (～9時30分)	—	—	—	—	—
内科	午 前	太田 (9時30分～)	徳毛	太田 (9時30分～)	—	太田 (9時30分～)	立本
		川合	岡本	川合	岡本	川合	川合 (第2・4週)
		渡辺	渡辺	渡辺	北村	渡辺	濱田 (第1・3・5週)
	午 後	北村	川合	北村	徳毛	岡本	—
		—	—	徳毛	渡辺	—	—
女性泌尿科	午 後	—	有地 (第2・4週の14時～ 16時30分)	—	—	有地 (15時～17時)	—
骨粗鬆症外来	午 後	竹原 (第1週) 横尾 (第4週)	—	—	—	—	—
透析	午 前	有地	有地	有地	有地	有地	有地
	午 後	有地	—	有地 (第1・3・5週) 担当医 (第2・4週)	—	有地	—
ドック	午 前	浜井	浜井	浜井	太田	浜井	担当医
検査	胃カメラ	岡本／北村	川合／笹平	北村／高橋	井上／竹原	北村／岡本	担当医
	大腸カメラ	川合	北村	川合	岡本	北村	—

整形外科

竹政 敏彦
(スポーツ外来:月・水16時～)
後藤 峰範
(川崎医科大学整形外科)
古市 州郎
菊岡 亮介

外科

高橋 健治
(消化器外科・下肢静脈瘤)
湯浅 吉夫 (総合診療外科)
竹原 寛樹
(消化器外科・甲状腺科)
岩本 高行 (乳腺内分泌外科)

内科

渡辺 康典 (呼吸器内科)
岡本 康 (消化器内科)
川合 幸延 (消化器内科)
北村 悟 (消化器内科)
浜井 千香 (内科)
太田 浩子 (内科)
徳毛 健治 (内科)
井上 和彦 (消化器内科)
濱田 礼子 (内科)
立本 修二 (内科)

泌尿器科

有地 直子

麻酔科

横尾 千加子

健康管理科より

当院では『地域の方々を健康に』を目標に、各種人間ドック・健診をおこなっています。

お気軽にお問合せ下さい。 人間ドック専用TEL:084-924-8041

医師 浜井 千香 / 太田 浩子

注意事項

※火曜日・木曜日の午後の整形外科診療は手術終了後に担当医が行っております。
※緊急時、ご紹介の場合は電話でお問い合わせください。

受付時間 午 前: 8:30～12:00
午 後: 13:30～17:00
※土曜日は12:00までの受付です。

診察時間 午 前: 9:00～12:30
午 後: 14:00～17:30

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26
代表TEL:084-924-4141 地域医療連携室TEL:084-920-1472
代表FAX:084-924-8040 FAX:084-920-9278